

これまで実践した研究授業の紹介をします。

## 【算数科 6年生】

村上弘樹教諭による提案授業「比とその利用」が行われました。子供が問題解決において図をかくことが有効であると実感し、進んで図を利用しようとする姿が見られた授業でした。今後、①思考過程の妥当性を図の操作を通して検証する子供②図をもとに導いた結論を発展的に考察する子供の育成に関する研究をさらに進めていきます。



算数科の授業の様子

## 【音楽科 4年生】

谷口峻音教諭による提案授業「旋律の特徴を感じ取ろう」が行われました。2部合唱の自分が歌う声部ではない、もう一つの歌声を感じながら声を合わせることに喜びを感じる子供の姿が見られました。音楽の時間だけでなく、教室で、家で、様々な場所で歌う姿が見られることを喜びとする子供の育成を目指します。



音楽科の授業の様子

## 【理科 6年生】

磯江孝教諭による提案授業「ものが燃えるとき」が行われました。密閉された空気の中で高さの違うろうそくに火をつけると、高い方のろうそくの炎が初めに消える。その様子を観察し、現象が起こる理由を推論し、その推論が正しいかを実験を通して証明していく子供の姿が見られました。得られた結果を客観的に検証していくことのできる子供の育成を目指します。



理科の授業の様子

## 【知財創造教育 5年生】

乾道夫教諭による提案授業「『あたりまえ』をはずして物をみてみよう」が行われました。4つの発想スキルとYチャートシートを活用することで、あたりまえを外して物を見る発想を得た子供たちが見られました。これからの時代を生きる児童に、凝り固まった価値観で物を見るのではなく、常識を外して物事を捉えられるような発想を持つような題材開発を進めていきます。



知財創造教育の授業の様子



## 【外国語活動 2年生・外国語科 4年生】



外国語活動の授業の様子



外国語科の授業の様子

青木陽子教諭による提案授業「何がすき? (野菜)」、横山由佳教諭による「What time is it?」の提案授業が行われました。どちらの授業も英語表現に慣れ親しみながら、友達とのインタビュー活動を楽しむ姿がたくさん見られました。外国語活動・外国語科では、小学校6年間の発達段階に応じて、児童に意識させたいコミュニケーションポイントを活用しています。低・中・高学年と積み上がっていくコミュニケーションポイントを用いた活動を重ねることで、コミュニケーションを図る素地や基礎を育みたいと考えています。

研究授業の後は、全職員でリフレクションを行います。時には、他校の教職員や鳥取大学の学生も参加し、共に授業づくりを考えます。



研究会の様子①



研究会の様子②

研究会には、多くの共同研究者の方にご参加をいただきました。



藤井太平 先生による講話



鈴木慎一郎 先生による講話



足立和美 先生による講話

研究のP D C A「Plan=計画」「Do=実行」「Check=評価」「Action=改善」を重ねています。研究成果を10月26日(土)の研究発表大会で公開できるよう今後も研鑽に励みます。今後も本校研究へのご理解とご協力、よろしくお祈いします。

### 研究発表大会 2次案内について

本年度の**研究発表大会**は、**令和元年10月26日(土)**に開催いたします。2次案内を本ホームページにアップしておりますので、ご覧ください。  
(研究主任 杉谷 義和)